

■ 使用評価マニュアル: 北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■ 使用評価ソフト: CASBEE北九州_2016(v3.0)

1 建物概要

建物名称	医療法人緑風会 八幡大蔵病院新	BEE	1	BEEランク	B+	★★★
------	-----------------	-----	---	--------	----	-----

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.1 / 5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	3.9 / 5		ふつう
3 豊かな自然環境の確保	2.3 / 5		がんばろう
4 高齢社会への対応	3.0 / 5		ふつう

※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
---	-------	----------------	-----------------	-------------------

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2016年版	使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016v(3.0)
---------------------------------------	--

1 循環型社会への貢献		スコア平均	3.1														
リサイクルに関する配慮	LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア	3.2														
長寿命化に関する配慮	Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア	3.2														
	Q2/ 3 対応性・更新性	スコア	3														
再生クラッシャーランを採用。	・給排水管の更新間隔: 主要用途3種のうち、2種類以上にBを使用、Eは不使用。 ・階高のゆとり: 1階、2階ともに3.8m。																
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均	3.9														
省エネ・省資源に関する配慮	LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア	3.8														
ライフサイクルCO2排出率が、79%。	節水に関する配慮	LR2/ 1.1 節水	スコア	4													
	自動水栓や節水型機器を採用。																
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均	2.3														
生態系保全に関する配慮	Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア	1														
緑化に関する配慮	Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3														
	LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3														
極力、緑化に心掛けた。	・空地率: 86.14%。緑被率: 35.64%。 ・見付け面積比: 18.58%。隣棟間隔指数Rw: 3.6。																
4 高齢社会への対応		スコア平均	3.0														
バリアフリーに関する配慮	Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア	3														
福岡県福祉のまちづくり条例の「整備基準」を満たしている。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">主な指標</th> </tr> <tr> <td>建物の外皮性能 (BPI評価)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級</td> <td>0.62</td> </tr> <tr> <td>建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非住宅: BEI値、住宅: -</td> <td>0.74</td> </tr> <tr> <td>外構緑化指数</td> <td>42.45 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数</td> <td>0 %</td> </tr> </table>			主な指標		建物の外皮性能 (BPI評価)		非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級	0.62	建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価)		非住宅: BEI値、住宅: -	0.74	外構緑化指数	42.45 %	建物緑化指数	0 %
主な指標																	
建物の外皮性能 (BPI評価)																	
非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級	0.62																
建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価)																	
非住宅: BEI値、住宅: -	0.74																
外構緑化指数	42.45 %																
建物緑化指数	0 %																

: 入力欄

: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人緑風会 八幡大蔵病院新築	階数	地上2F 地下0階
建設地	福岡県北九州市八幡東区河内二丁目	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	105 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年2月27日
敷地面積	25,846 m ²	作成者	香月龍己
建築面積	1,379 m ²	確認日	2020年3月7日
延床面積	2,518 m ²	確認者	上野純一郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 79% (146 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 79%

④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	2.9
温熱環境	1.8
光・視環境	3.2
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.3
耐用性	3.0
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.1
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.8
地域環境	2.9
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 ・山間部に建つ病院であるため周辺環境を配慮した計画とし、敷地内緑化に努めた。 ・将来への変化に対応しやすい施設計画とした。 ・土砂災害特別警戒区域内であるため建物の設計強度に留意した。		その他 0
Q1 室内環境 外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮。また、全面的にF☆☆☆☆の材料を採用して空気質環境にも十分配慮した。	Q2 サービス性能 壁長さ比率を小さくした。また階高を3.8mとし空間にゆとりを持たせている。	Q3 室外環境(敷地内) 極力、緑化に心掛けた。
LR1 エネルギー LED照明器具などの高効率機器を採用し、エネルギー消費量低減に配慮。断熱性能の高い外皮を採用しており、室内への熱負荷の低減を図っている。	LR2 資源・マテリアル 節水に配慮し、自動水栓や節水型便器を採用した。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車スペースを確保。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
医療法人緑風会 八幡大蔵病院新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.5
Q1 室内環境							0.40	-	-	2.7
1 音環境						3.0	0.15	2.3	1.00	2.9
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						3.2	0.40	2.4	0.40	
1 開口部遮音性能		T-2。				5.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						2.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境						1.7	0.35	2.2	1.00	1.8
2.1 室温制御						2.5	0.50	3.4	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		断熱性能の高い外皮。				4.0	0.25	4.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						1.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						3.0	0.25	4.1	1.00	3.2
3.1 昼光利用						3.0	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		【住】病室:1.80%。				3.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		【住】ブラインドまたはカーテンおよび庇あり。				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		【住】ベッド灯あり。				3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.3	1.00	3.5
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材を全面的に採用。				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						2.0	0.30	2.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全体が禁煙。				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1
1 機能性						3.0	0.40	4.4	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		多床室 8㎡/床以上。				-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		天井高2.55m。				-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途3種のうち、2種類以上にBを使用、Eは不使用。				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.3	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	1階、2階:3.8m。	4.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	【共】壁長さ比率:0.19。	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			外皮の断熱強化、複層ガラスの採用。	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.74	4.1	0.50	-	4.1
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水コマ(自動水栓)に加え節水型機器を用いている。	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	3.2
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			再生クラッシャーラン	3.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			GL工法、LGS下地のため分別が容易。	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ポリスチレンフォーム(ODP=0,GWP=3)	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率が、79%。	3.8	0.33	-	3.8
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				1.6	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	